

土木と市民社会をつなぐ活動

シビルNPO 連携プラットフォーム常務理事/土木学会連携部門長
土木学会/教育企画・人材育成委員会/シビルNPO 推進小委員会 委員長
メトロ設計(株) 技術顧問

田中 努



「土木学会連携部門」は、今年度、新しくできた部門です。これまでは土木学会の会員でもある「土木学会連携担当理事」が居て、土木学会の「シビルNPO 推進小委員会」の委員長を兼任していました。私の前任者は、CNCP 設立の中心人物の一人である駒田智久さんです。

CNCP では、設立3周年を機に「見直しWG」を起こしてこれまでの活動を振り返り、ミッションに添えるべく「土木と市民社会をつなぐ」を基本テーマに掲げてすべての活動を見直すと共に、土木学会との連携強化を目指して「土木学会連携部門」を設置しました。

この「土木と市民社会をつなぐ」という活動は、土木学会と連携して、シビルNPOをはじめ、インフラ整備、環境整備、まちづくり、防災・減災等に、様々な形で関わっている様々な組織・団体・個人と、それらに関心を持つ市民との、ネットワークを作り、互いに連携・協働して、志を同じくする仲間の輪を広げて行こうとするものです。

「土木と市民社会をつなぐ」活動は、CNCP 全体の基本テーマですが、「土木学会連携部門」が先頭に立ち、他の部門と連携して進めて行くこととなります。以下に、どんな問題認識か、どんなことをやろうとしているのかを、ご紹介します。

■ 「土木」が行うこと

「土木」は英語で「Civil Engineering」と言い、「Military Engineering」と対峙します。軍事のためではなく、民生・市民のための技術・工学のことです。（CNCP 通信巻頭のシリーズ「土木ということば」もご覧ください。）

「土木」は、国や地域の「インフラ整備」と「防災・減災」を担っています。国民・市民の生命と財産の保全、社会・経済活動の維持・発展のための活動です。

「インフラ整備」とは「まちの基盤づくりと維持」。道路・鉄道・港湾・空港のような交通施設や上下水道・電気・通信のようなライフライン施設の計画・設計・建設・維持・更新です。また住宅地や工場用地等のための斜面の造成・水面の埋め立てなども対象範囲です。

もう一つの「防災・減災」は、大昔からの「治山治水」、関東大震災以後は「地震防災」を加えて、自然災害の防止・軽減のための計画・設計・建設・維持・更新です。近年では、ハード対策では防ぎきれない甚大な災害に対して、ソフト対策にも取り組んでいます。

■ 「土木」と「市民社会」の溝

「土木」は、本来、市民生活と密接なものでありながら、市民の多くは国や自治体にお任せして、必要な諸施設が存在し機能し続けることが当たり前のように思い、マスコミも3K・談合・箱ものづくり・・・などの不具合に飛びつき、若者も「土木」を敬遠しています。



「土木」が行う「インフラ整備」と「防災・減災」は、技術・規模・費用等が市民の自助や共助のレベルと大きく乖離するし、「土木」が求める地域の最適解は必ずしも市民全員の最適解ではないので、産学官の土木技術者のみで進められることが多く、それが「溝」をつくる原因になっていると思います。戦後の復興と欧米に追い着け・追い越せと国を挙げて頑張った高度成長期には、「土木」が行う「インフラ整備」は市民の価値観と合致して歓迎されましたが、バブル期には環境配慮等の市民の価値観の多様化と情報公開が進んで溝が深まった気がします。

近年の、人口減少・税収減少・インフラの老朽化・地震の活発化・豪雨の増強化等の問題山積の前では、土木技術者が最適解を見つけ出すという従来型のスキームだけでなく、その地域の市民に自らの税金の使い方やリスクとどう向き合って暮らしていくかを考えて貰う必要があると思います。

■「土木」と「市民社会」をつなぐ活動

土木学会も、従来の活動が土木学会の周囲に限られていたことを反省していて、「創立100周年記念事業」や「社会と土木の100年ビジョン」「創立100周年宣言」等に、あらゆる境界をひらいて、様々な団体との連携を強化し、社会貢献・市民交流等を推進することを掲げています。そして、市民への広報や知って貰うためのイベントなども、土木学会の様々な組織・委員会で行われていますが、それぞれが良かれと、あるいはダブリ・競合しないように棲み分けして、思い思いの活動がバラバラに取り組み、それぞれで広報されている状態です。

この「土木」と「市民社会」をつなぐ活動は、CNCPでも、国・自治体・大学・建設会社および関連協会等でも、同様に取り組まれています。大なり小なり似た状況にあり、「土木」と「市民社会」の「溝」はなかなか埋まっていけないのが実情です。

■「（仮称）土木と市民社会をつなぐフォーラム」の設立

そこで、「土木と市民社会をつなぐ」という考え方に賛同するあらゆる組織・団体・個人が集う場として、「フォーラム」を設立しようと準備を進めています。この「フォーラム」の目的は、次の2つです。

【目的1】活動情報の集約とフォーラムの外への広報

フォーラムに集う仲間の「土木と市民社会をつなぐ」様々な活動を集約して（詳細内容はそれぞれのHP等による）、DB化し、その全部をHPやネットニュース・Facebook・YouTubeを通じて発信します。我が国のすべての活動を網羅したいと思っています。

市民や学生・子供がこのフォーラムで検索すれば、地元や日本中の、見せてくれる工事現場や、土木の話をしてくれる人、様々な疑問への回答、イベント・グッズ、写真、ニュースに対する専門家の解説、土木遺産、土木の本等々「土木のすべてがまとめて見える」イメージです。

【目的2】フォーラムの内での活動情報の共有と連携・協働の呼びかけ

フォーラムに集う仲間は、互いの組織情報や活動内容を共有し、自組織のイベント等への参加の呼びかけ、連携・協働の呼びかけ、参考にしたい優れた活動の勉強、困ったことの相談など、情報交換や連携・協働をし易くします。フォーラムの仲間が利用できるポータルサイトを構築しようと考えています。

志を同じくする市民にも参加していただき、「土木」の視点での取り組みを、「市民」の視点での取り組みに変えていきたいと思っています。

CNCPの会員とサポーターの皆さま、一緒に「つなぐ」仲間になりませんか？ 一人でも多くの方のご参加をお願いします。

